

20201029_sample.mht

← → c btsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789

CT編ライト版
19ページ中 1ページ目

文字サイズ
極小

残り時間 12 分 26 秒

設問1～5 データ理解

1. 以下の表は、平成7年度から平成11年度における主な食料の国民1人・1年当たりの純供給量である。この表から導き出すことができるものを選びなさい

主な食料の国民1人・1年当たりの純供給量 (単位: kg)

	米	小麦	いも類	野菜	肉類	牛乳 乳製品	魚介類
平成7年度	67.8	32.8	20.7	105.8	28.5	91.2	39.3
平成8年度	67.3	33.0	20.8	104.7	28.1	93.3	38.9
平成9年度	66.7	32.4	21.3	101.9	27.8	93.2	37.3
平成10年度	65.2	32.2	20.3	99.4	28.1	92.3	35.5
平成11年度	65.1	32.4	20.9	102.3	28.6	93.0	35.4

☐ (A) 平成10年度において、前年度と比べ減少率をもっとも大きいのは野菜である

☒ (B) 平成11年度において、平成7年度と比べ増加率をもっとも大きいのは牛乳・乳製品である

☐ (C) 表中の食料のうち、平成7年度以降毎年減少しているのは米だけである

☐ (D) 平成11年度において、野菜が前年度と比べ大きく増加したのは天候が原因である

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

16:49
2020/10/29

20201029_sample.mht

← → c btsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789

CT編ライト版
19ページ中 2ページ目

文字サイズ
極小

残り時間 12 分 14 秒

2. 以下の表は、ある年の世帯内の18歳以上の就業者（親族と同居している就業者；いわゆるパラサイトシングル）の年齢層別の学歴分布を表したものである。この表から導き出すことができるものを選びなさい

	義務教育	高校	専門・ 専修学校	短大・ 高专	大学以上	その他	合計
10代	17.2%	78.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.5%	100%
20代	4.1%	38.8%	19.2%	16.0%	21.5%	0.4%	100%
30代	6.3%	43.1%	12.9%	13.3%	23.8%	0.6%	100%
40代	19.1%	45.8%	5.9%	5.5%	21.6%	2.1%	100%
50代	22.8%	48.1%	5.1%	8.9%	12.7%	2.4%	100%
60代以上	34.6%	23.1%	19.2%	0.0%	15.4%	7.7%	100%
全体	7.0%	42.6%	15.8%	13.4%	20.4%	0.8%	100%

注：学歴は最終学歴を示す

☐ (A) パラサイトシングルは高学歴に偏っている

☐ (B) パラサイトシングルの数をもっとも多いのは高卒の10代である

☐ (C) 他の年齢層と比べると30代は高卒の割合が他の学歴よりも高い傾向にある

☒ (D) 他の年齢層と比べると20代は専門・専修学校卒と短大・高专卒の割合が高い

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

16:50
2020/10/29

V

20201029_simplex.mp4

← → cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789

CT編ライト版
19ページ中 3ページ目

文字サイズ 極小

残り時間 11 分 48 秒

3. 以下の表は、各メディアの平均利用時間を性別・世代別で示したものである。この表から読み出すことのできないものを選びなさい

(時間：分)

	全体	男性	女性	12～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～74歳
テレビ	3:25	3:07	3:42	3:16	3:10	3:10	2:39	3:31	4:28
新聞	0:40	0:42	0:37	0:22	0:25	0:30	0:32	0:45	1:03
インターネット※	1:02	1:05	0:59	1:36	1:12	1:06	0:43	0:32	0:35

※：P C、携帯電話、PHSを含む

☐ (A) 50歳以上がテレビと新聞を利用する時間は、インターネットを利用する時間の8倍以上である
☒ (B) メディア利用のトータル時間が女性の平均より長い世代は、50歳以上の世代である
☐ (C) 20歳代がテレビと新聞を利用する合計時間は、インターネットを利用する時間の3倍程度である
☐ (D) 女性はテレビを、男性はインターネットと新聞をより長い時間利用している

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

16:50 2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789

CT編ライト版
19ページ中 4ページ目

文字サイズ 極小

残り時間 22 分 12 秒

☐ (A) 9月に在庫量が急増したのは、生産量が急増したからである
☒ (B) 9月と1月の生産量の差は、11月と3月の出荷量の差より大きい
☒ (C) 在庫が減少した月の前月は、生産量が出荷量を上回っている
☐ (D) 8月から9月にかけて生産量と出荷量ともに5割以上伸びている

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

16:40 2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789

CT編ライト版
19ページ中 5ページ目

文字サイズ
極小

残り時間 11 分 13 秒

出所：NHK 放送文化研究所

(A) 自分自身を「友達のような父親」だと思っていらい父親が多い

(B) 母親は特に親の権威を子どもに示すという点で、父親に期待している傾向が強い

(C) 子どもの自由にさせる親を理想とする割合は、親子ともに比較的高い

(D) 子どもに親の権威を示すことと子どもを厳しくしつけることは、同じこととみなされている

解答状況

試験終了

前の問題 次の問題 後で見直す

16:51
2020/10/29

← → cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789

CT編ライト版
19ページ中 6ページ目

文字サイズ
極小

残り時間 10 分 30 秒

説明6~10 文章理解

以下の文章を読んで、説明6~10に答えなさい

リーダーシップという言葉は、日常の仕事や人間関係で使われている意味を越えて、何か高尚な意味を含んで使われるようになってきているらしいがある。そして、リーダーシップという言葉が熱心に読まれている。我々の方向性失念や無為感、職務不遂行意識などを和らげることができるという価値もあるようである。

このような価値は、我々の思考を促している。我々はリーダーとリーダーシップという言葉、神秘的なヴェールに包み込まれているために、これらについて明確に考えるのが困難になっている。

リーダーシップという言葉は、個人あるいはリーダー・チームが、リーダーやリーダーと部下が共有している目的を追求すべく、集団を誘導していくプロセスである。

いかなる集団においても、その構成員である各個人は様々な役割を果たしており、そのような役割の一つがリーダーの役割なのである。リーダーを単に歴史的状況、リーダーがリーダーとして機能している組織、リーダーが管理しているシステムなどを切り離してリーダーを考えることはできない。リーダーもシステムに欠くことのできない一部であり、システムに影響を与えている様々な力に支配される。集団がその目的を達成しようとするれば、リーダーは何らかの役割や機能を果たすか、あるいは果たすように仕向けられる。

〔リーダーシップの本質〕 J.W. ガードナー著、加藤幹雄訳より転写

6. この文章が目的としているものを選びなさい

(A) 普通の人がリーダーになるためにはどのような態度を取るべきか、その心得を説く

(B) リーダーは特殊な才能ではなく、全ての集団につきものの役割の一つにすぎないと訴える

(C) リーダーと部下との関係がいかにあるべきか、望ましい姿を説く

(D) 仕事上の目的を達成するためにはいかにリーダーシップが必要か、その重要性を訴える

7. この文章によれば、我々がリーダーシップという言葉に熱心に取り組むとき、どのような心理的効果をもたらしているか

(A) リーダーシップとは何か高尚で自分には縁遠いものである。あこがれを抱くようになる

(B) リーダーシップを持たない人でも、持っているかのように積極的にリーダーとして振るまえるようになる

(C) 自分の属する集団で現在リーダーシップが発揮されていなくても、誰か新たなリーダーが現れるまでは仕方がないと納得できる

(D) リーダーシップという言葉を知ることで、日々の仕事を自分自身の力で達成しようという意欲が自然に湧き出てくる

8. この文章から、我々にとってリーダーシップを明確に考えることが困難な原因と考えられるものを

解答状況

試験終了

前の問題 次の問題 後で見直す

16:51
2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → ↺ cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ 文字サイズ 極小 残り時間 10 分 17 秒

CT編ライト版

19ページ中 6ページ目

設問6～10 文章理解

以下の文章を読んで、設問6～10に答えなさい

リーダーシップという言葉は、日常の仕事と関連して使われている意味を越えて、何か高尚な意味を含んで使われるようになってきているらしいがある。そして、リーダーシップという言葉は熱心に研鑽に堪えていれば、我々の方向喪失感や無為感、義務不感行意識などを和らげることができるという感情もあるようである。

このような感情は、我々の思考を拓かせている。我々はリーダーとカリリーダーシップという言葉を通じて、神秘的なヴェールに包みかちであるために、これらについて明晰に考えるのが困難になっている。

リーダーシップというのは、個人あるいはリーダー・チームが、リーダーやリーダーと部下が共有している目的を追求すべく、集団を誘導していくプロセスである。

いかなる集団においても、その構成員である個人は様々な役割を果たしており、そのような役割の一つがリーダーの役割なのである。リーダーを生んだ歴史的状況、リーダーがリーダーとして機能している環境、リーダーが掌理しているシステムなどを切り離してリーダーを考えることはできない。リーダーもシステムに欠くことのできない一部であり、システムに影響を与えている様々な力に支配される。集団がその目的を達成しようとするれば、リーダーは何らかの役割や機能を果たすか、あるいは果たすように仕向けられる。

「リーダーシップの本質」J.W.ガードナー著、加藤幹雄訳より抜粋

8. この文章の中でリーダーについて考える際、必要とされていない言葉を並びなさい

☐ (A) リーダーとリーダーシップとを混同しがちであるから

☐ (B) 日常の仕事の中で方向喪失感や無為感、義務不感行意識などに悩まされているから

☒ (C) リーダーシップには、日常の仕事に関連することよりも高尚な意味が含まれるから

☐ (D) リーダーシップとは普通の人々が日常的には持ち得ない特殊な才能、と捉えがちであるから

9. この文章の中でリーダーについて考える際、必要とされていない言葉を並びなさい

☐ (A) ある集団の中で、どのようにして今のリーダーがリーダーに選ばれたか

☒ (B) 今のリーダーとそれ以前のリーダーとを比較してどちらが優れているか

☐ (C) リーダーは、どのような条件の下で他の構成員からリーダーと認められるか

☐ (D) リーダーは、どのようにして他の構成員に自分の意思を伝えたり行動を促したりできるか

10. この文章から、リーダーについて導き出すことができるものを選びなさい

☐ (A) 必ずしもより上位の役職の人間がリーダーになる必要はない

☐ (B) 集団の目的を達成するために、システムに影響を与えるのがリーダーである

☒ (C) リーダーシップについて明晰に考えることで、リーダーとしての役割を果たすことができる

☐ (D) たとえリーダーになっても、無秩序な行動においては他の役割を果たさなければならない

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

2020/10/29 16:52

20201029_simplex.mp4

← → ↺ cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ 文字サイズ 極小 残り時間 10 分 13 秒

CT編ライト版

19ページ中 7ページ目

設問11～15 問題構造把握

11. 以下の推論のうち、論理的に正しく導き出すことができるものを選びなさい

☐ (A) 食事をしている人はテレビを見ていない。テレビを見ていない人は新聞を読んでいる。ゆえに、食事をしている人は新聞を読んでいる

☐ (B) 野球をする人はテニスをしていない。テニスをする人はサッカーをしていない。ゆえに、野球をする人はサッカーをする

☒ (C) 自然を愛する人は動物が好きである。山に登る人は自然を愛する。ゆえに、山に登る人は動物が好きである

☐ (D) 美しい花には香りがいい。香りのある花にはトゲがある。ゆえに、美しい花にはトゲがない

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

2020/10/29 16:52

20201029_simplex.mp4

← → ↻ cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ 文字サイズ 極小

CT編ライト版
19ページ中 8ページ目

残り時間 10 分 08 秒

12. 下記(1)～(3)の命題が妥当なものとした場合、論理的に正しく導き出すことができる結論を選びなさい

1) 書籍を大事にする人は雑誌をよく読む
2) 新聞をよく読む人は書籍を大事にする
3) 書籍を大事にする人はテレビをあまり見ない

☐ (A) 書籍を大事にしない人はテレビをよく見る
☒ (B) 雑誌を読み込まない人は新聞をよく読まない
☐ (C) テレビをあまり見ない人は新聞をよく読む
☐ (D) 書籍を大事にする人は新聞をよく読む

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

16:52
2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → ↻ cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ 文字サイズ 極小

CT編ライト版
19ページ中 9ページ目

残り時間 10 分 03 秒

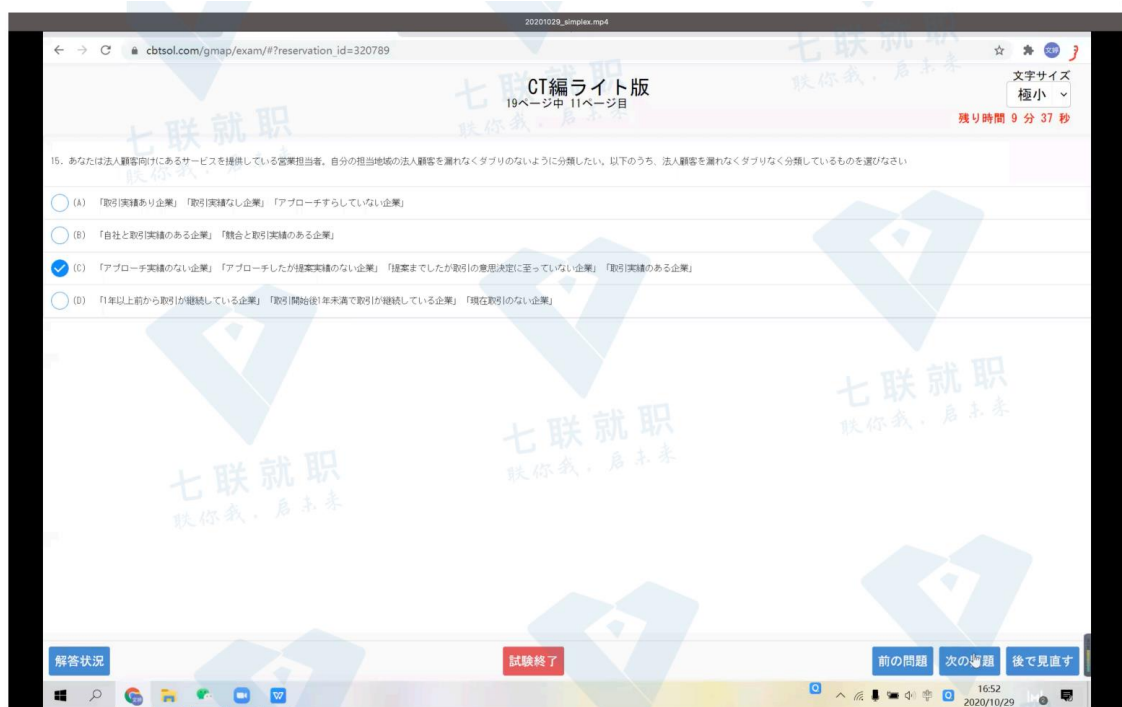
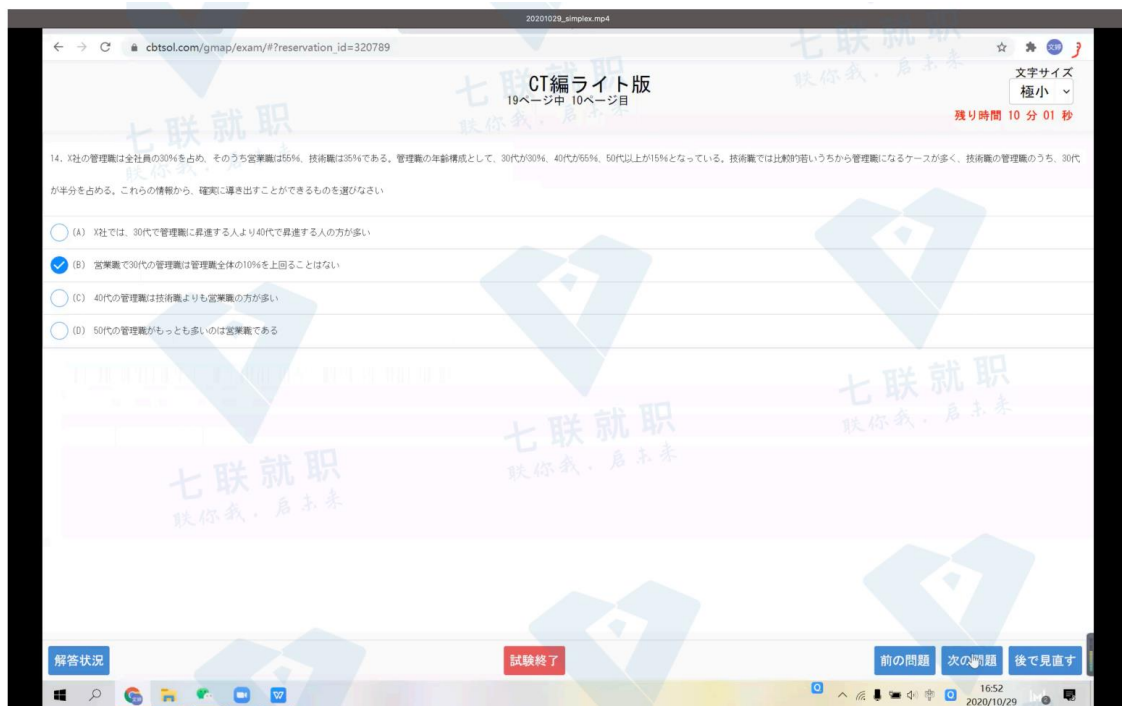
13. アルファ社は3つの地域（A地区、B地区、C地区）で3つの製品（製品X、製品Y、製品Z）をそれぞれ販売している。製品Yの売上はアルファ社全体の半分を占め、そのうち40%をB地区からあげている。この売上はB地区全体の売上の半分を占め、A地区とC地区の売上は同じである。また、製品Yの残りの売上はA地区とC地区で同じである。なお、どの製品も売上のあがっていない地区はない

これらの情報から導き出すことができるものを選びなさい

☐ (A) どの製品も、B地区での売上構成比がもっとも高い
☒ (B) どの地区においても、製品Yの売上構成比がもっとも高い
☐ (C) A地区では、製品Xよりも製品Zの売上の方が大きい
☐ (D) 製品Xの売上の方が、製品Zの売上より大きい

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

16:52
2020/10/29



20201029_simplex.mp4

← → cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ ★ 文字サイズ 極小

CT編ライト版
19ページ中 12ページ目

残り時間 9 分 35 秒

説明16～20 数学的推理
以下の文章を読んで、説明16～17に答えなさい

ある会社では、次の部署間に双方向の伝令配達システムがある：
FとG、FとH、HとK、KとM、KとN、MとJ、JとL

また、JとGの間には一方通行の伝令配達システムがあり、JからGへの伝達が可能である。
これらの伝令ルート同士は、各部署の地点を除いて交差することはない。
この会社には他に部署や伝令ルートはない。
伝令配達人は部署間移動の指示に従わなければならない。

16. 以下のうち、HとKの間で改修工事が行われていて通行不可能であった場合に配達人が移動できないルートを選びなさい

☒ (A) GからL
☐ (B) JからM
☐ (C) JからL
☐ (D) KからF

17. ビルの改修工事のため、伝令配達人はKからMへの移動は可能だがKへの移動は不可能になった場合、配達人がWから移動可能な部署を選びなさい

☒ (A) F、Gへ可能。しかし、J、K、L、M、Nへは不可能
☐ (B) F、G、Kへ可能。しかし、J、L、M、Nへは不可能
☐ (C) F、G、J、Lへ可能。しかし、K、M、Nへは不可能
☐ (D) F、G、J、K、L、M、Nへ可能

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

16:52 2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ ★ 文字サイズ 極小

CT編ライト版
19ページ中 13ページ目

残り時間 9 分 32 秒

以下の文章を読んで、説明18～20に答えなさい

A、B、C、D、E、F、Gの7人が徒競走をし、以下の結果となった

- ・BはDの次にゴールインした
- ・EはCの次にゴールインした
- ・BとEのゴールインの間に3人がゴールインした
- ・GはAに敗れ、Fに勝った
- ・Aは1位ではない

18. 以下のうち、確実に導き出すことができるものを選びなさい

☒ (A) Gがゴールインするのは、前から4番目である
☐ (B) Bがゴールインするのは、前から2番目である
☐ (C) DはAよりも先にゴールインする
☐ (D) もっとも早くゴールインするのは、Cである

19. 以下のうち、全体の順位を確定させるのに必要なものを選びなさい

☐ (A) Aは3番目にゴールインする
☐ (B) Dは3番目にゴールインしていない
☐ (C) 最後にゴールインしたのはFである
☒ (D) Eは6番目にゴールインしていない

20. 以下のうち、EがFより先にゴールインするために必要な条件を選びなさい

☐ (A) Aが9番目にゴールインする
☒ (B) BよりもGが先にゴールインする
☐ (C) EがFよりも先にゴールインする

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

16:52 2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → ↻ cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ 文字サイズ 極小

CT編ライト版

19ページ中 13ページ目

残り時間 9 分 30 秒

以下の文章を読んで、設問18～20に答えなさい。

A, B, C, D, E, F, Gの7人が健闘をなし、以下の結果となった。

- BはDの次にゴールインした
- EはCの次にゴールインした
- BとEのゴールインの間に3人がゴールインした
- GはAに敗れ、Fに勝った
- Aは1位ではない

18. 以下のうち、ゴールインするのは、前から4番目である

☒ (A) Gがゴールインするのは、前から4番目である

☐ (B) Bがゴールインするのは、前から2番目である

☐ (C) DはAよりも先にゴールインする

☐ (D) もっとも早くゴールインするのは、Cである

19. 以下のうち、全体の順位を確認させるのに必要なものを選びなさい

☐ (A) Aは3番目にゴールインする

☐ (B) Cは3番目にゴールインしていない

☐ (C) 最後にゴールインしたのはFである

☒ (D) Eは6番目にゴールインしていない

20. 以下のうち、Eがより先にゴールインするために必要な条件を選びなさい

☐ (A) Aが3番目にゴールインする

☒ (B) BよりもGが先にゴールインする

☐ (C) EがFよりも先にゴールインする

☐ (D) Dが最後にゴールインする

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

16:52 2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → ↻ cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ 文字サイズ 極小

CT編ライト版

19ページ中 14ページ目

残り時間 9 分 14 秒

設問21～25 読証1

21. 先日、フロリダの平ばつはオレンジの栽培期間に当たっていたため、今シーズンのオレンジの価格は昨年の3倍になるだろう。これによりオレンジジュースの製造コストは押し上げられ、その販売価格も上がると思われる。

以下のうち、上記主張をもっとも弱めるものを選びなさい。

☐ (A) 先日、平ばつは、科学者達が予想していたほど悪くなかった

☒ (B) オレンジジュースの成分となるオレンジのうち、フロリダ産の比率は少ない

☒ (C) オレンジジュースの主成分の1つである砂糖は価格が半減した

☐ (D) 昨年のオレンジの価格は、その前の10年間の平均価格より低かった

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

16:53 2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → ↻ cbtnsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ 文字サイズ 極小 残り時間 9 分 01 秒

CT編ライト版
19ページ中 15ページ目

22. 以下のうち、下記主張が前提としていることに対して、もっとも論理的に反論しているものを選びなさい

「民間企業は利益優先に行動する。そうした企業が雇用する人材の多くも効率性を重視して行動するだろう。そうした人材が自らの行動を効率化するあまり、管理業務自体も効率化してしまうと、貴重な文化財の価値が低減してしまう。従って、文化財の管理業務を民間に委託するのは反対だ」

☐ (A) すべての民間人が効率性ばかりを重視して行動するわけではない

☒ (B) 文化財の価値は、管理業務の効率性によって決定されることはない

☐ (C) 企業が効率性を重視するからといって、そこで雇用される人材も同様とは限らない

☐ (D) 管理業務の民間委託の方が、公務員による管理より低コストである

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

1653 2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → ↻ cbtnsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ 文字サイズ 極小 残り時間 8 分 59 秒

CT編ライト版
19ページ中 16ページ目

23. 以下のうち、下記主張に対する反論としてもっとも適切なものを選びなさい

「前回のブランド別認知度調査で、半年前に投入した新製品Aは25ポイントという低い数値しか得ることができなかった。この調査結果は、新製品Aを投入したのは時期尚早か市場ニーズに対応できていないなど、何らかの理由により失敗したことを意味している」

☐ (A) 新製品Aの投入時期は、製品ライフサイクルで見ると成熟期にあたる

☐ (B) 新製品Aの投資収益率は、当社の基準から見ても満足できる水準にない

☒ (C) この新製品は、認知度ではなく収益性で成功か失敗かを判断すべきである

☐ (D) 新製品Aが失敗したのは、時期が早かったからではなく商品の仕様に不備があったからだ

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

1653 2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → ↻ cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ ★ 🔍

CT編ライト版
19ページ中 17ページ目

文字サイズ
極小

残り時間 8 分 57 秒

24. 現在当社が利用している投資評価手法を、回収期間によるものから割引率によるキャッシュフローの現在価値算出法に変更するのは反対だ。割引率によるキャッシュフローの現在価値算出は、明らかに回収期間算出より複雑な計算過程が必要で、そうした過程を含めると必ず運用ミスが生じる。ミスが生じるような投資評価手法を敷いて導入する必要はないだろう。

上記主張にある前提が妥当であることを検証するには、どのような調査を行う必要があるか

☐ (A) 他社の割引率によるキャッシュフローでの現在価値算出法の導入事例

☐ (B) キャッシュフローによる現在価値算出法での計算過程の具体的な内容

☐ (C) 現在利用している回収期間による投資評価手法の問題点

☒ (D) 2つの投資評価手法によって発生するミスの量の比較結果

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

1653
2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → ↻ cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789 ☆ ★ 🔍

CT編ライト版
19ページ中 18ページ目

文字サイズ
極小

残り時間 8 分 56 秒

25. 顧客アンケートの評価は主観によるものだから活用できない。という主張は間違っている。そのような主張は、アンケート結果は使いやすいものであるべきだ。という前提によるもので、目的と手段を取り違えている。それは顧客の立場に立てればわかることだ。自分の感じたことを客観的な指標として表すことは顧客から見れば無理な話である。

上記主張において、主張者が前提としている考えとしてもっとも適切なものを選びなさい

☒ (A) 運用をよくすれば、主観によるデータも利用価値を高めることができる

☐ (B) 主観によるものに顧客が本当に必要としているものが反映されている

☐ (C) 客観データは数値化したものが多いために、加工に走りがちである

☐ (D) 主観によるものもデータの数を多くすれば、客観性を確保することができる

解答状況 試験終了 前の問題 次の問題 後で見直す

1653
2020/10/29

20201029_simplex.mp4

← → ↻ cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789

CT編ライト版
19ページ中 19ページ目

文字サイズ
極小

残り時間 8 分 54 秒

設問26～30 論証2

以下の表をもとに、設問26～30に答えなさい

年代別、就業別、世帯別の一回一人当たりの外食金額割合（平成8年）【農水省】

年代別	就業別	世帯別	外食金額（円）						回答者数（人）	
			1,000円未満	1,000～1,500円	1,500～2,000円	2,000～3,000円	3,000～5,000円	5,000円以上		
年代別			20代	30.4	34.8	21.7	8.7	2.2	2.2	46
			30代	22.6	43.6	15.6	7.8	9.1	0.8	243
			40代	10.7	32.1	24.0	19.2	7.7	5.5	271
			50代	6.4	24.3	20.0	24.7	17.0	6.4	235
			60歳以上	12.7	26.8	21.4	18.2	13.2	6.8	220
就業別			常勤	9.6	33.0	20.2	21.3	9.6	6.4	94
			パート・アルバイトなど	14.9	30.1	20.4	17.8	11.7	4.5	309
			無職	14.1	32.8	20.4	16.0	11.1	4.6	612
			夫婦のみ	9.9	25.3	22.7	21.0	14.6	6.4	233
			夫婦と子供	15.8	35.6	18.0	16.5	9.6	3.8	551
世帯別			三世帯世帯	12.4	34.6	23.5	11.8	11.1	5.9	153
			その他世帯	15.4	21.8	24.4	19.2	11.5	3.8	78
			計	13.9	32.0	20.4	17.0	11.1	4.7	1,015
			平成3年度調査	16.5	30.3	20.1	18.2	10.3	4.2	1,017
			昭和61年度調査	18.4	31.1	17.3	14.7	9.2	3.0	972

資料：農林水産省食品流通局消費生活課 平成8年度食料品消費モニター 第二回定例調査結果（平成9年3月）

26. 以下のうち、個人の外食について言えることを選びなさい

☐ (A) 20代と50代では食事に対する嗜好が全く違っている

☒ (B) 1回あたりの食事単価は各世帯の収入レベルを反映している

☐ (C) 夫婦2人に比べ、子供のいる家庭では価格の下方圧力がかかっている

☐ (D) 客単価1,000円未満の主な客層は20代である

27. A氏は、この表から外食にける金額が年々増加していると考え、客単価の比較的高いレストランを起業しようと考えた。A氏の判断を裏づける資料としてもっとも必要性の低いものを選びなさい

☒ (A) 昭和61年～平成8年におけるインフレ率の推移

☐ (B) 昭和61年～平成8年における外食・家庭食の回数割合の変化

☐ (C) 昭和61年～平成8年における客単価別レストランの集客（和洋中）の比率比較

☐ (D) 昭和61年～平成8年における各世帯の年間食費額の増加

28. B氏は20代をターゲットとしたレストランを経営している。今、客単価1,500円ほどの家庭向けメニューを充実させようと考えている。この表のうち、B氏の意思決定をもっとも強めるデータを選びなさい

20201029_simplex.mp4

← → ↻ cbsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789

CT編ライト版
19ページ中 19ページ目

文字サイズ
極小

残り時間 8 分 52 秒

設問26～30 論証2

以下の表をもとに、設問26～30に答えなさい

年代別、就業別、世帯別の一回一人当たりの外食金額割合（平成8年）【農水省】

年代別	就業別	世帯別	外食金額（円）						回答者数（人）	
			1,000円未満	1,000～1,500円	1,500～2,000円	2,000～3,000円	3,000～5,000円	5,000円以上		
年代別			20代	30.4	34.8	21.7	8.7	2.2	2.2	46
			30代	22.6	43.6	15.6	7.8	9.1	0.8	243
			40代	10.7	32.1	24.0	19.2	7.7	5.5	271
			50代	6.4	24.3	20.0	24.7	17.0	6.4	235
			60歳以上	12.7	26.8	21.4	18.2	13.2	6.8	220
就業別			常勤	9.6	33.0	20.2	21.3	9.6	6.4	94
			パート・アルバイトなど	14.9	30.1	20.4	17.8	11.7	4.5	309
			無職	14.1	32.8	20.4	16.0	11.1	4.6	612
			夫婦のみ	9.9	25.3	22.7	21.0	14.6	6.4	233
			夫婦と子供	15.8	35.6	18.0	16.5	9.6	3.8	551
世帯別			三世帯世帯	12.4	34.6	23.5	11.8	11.1	5.9	153
			その他世帯	15.4	21.8	24.4	19.2	11.5	3.8	78
			計	13.9	32.0	20.4	17.0	11.1	4.7	1,015
			平成3年度調査	16.5	30.3	20.1	18.2	10.3	4.2	1,017
			昭和61年度調査	18.4	31.1	17.3	14.7	9.2	3.0	972

資料：農林水産省食品流通局消費生活課 平成8年度食料品消費モニター 第二回定例調査結果（平成9年3月）

28. B氏は20代をターゲットとしたレストランを経営している。今、客単価1,500円ほどの家庭向けメニューを充実させようと考えている。この表のうち、B氏の意思決定をもっとも強めるデータを選びなさい

☐ (A) 20代に占める客単価2,000円の比率

☒ (B) 家族連れなどの客の客単価

☐ (C) 家族連れの回答者の絶対数

☐ (D) 1,500円という客単価の割合がもっとも多い世代

29. C氏は客単価5,000円以上を揃った店を作りたいと考えている。この表から、C氏が考える方向性として適切でないものを選びなさい

☐ (A) 40～50代をターゲットとする

☐ (B) 就業形態の違いによってターゲットを絞らない

☐ (C) 夫婦のみをねらう

☒ (D) 50代独身もターゲットに加える

20201029_simplex.mp4

← → ↻ cbtnsol.com/gmap/exam/#?reservation_id=320789

七联就職
就你，启未来

CT編ライト版
19ページ中 19ページ目

文字サイズ
極小

残り時間 8 分 50 秒

説明26～30 読証2
以下の表をもとに、説明26～30に答えなさい

年代別、就業別、世帯別の一回一人当たりの外食金額割合（平成8年）【農水省】
(単位: %)

回答項目	1,000円未満	1,000～1,500円	1,500～2,000円	2,000～3,000円	3,000～5,000円	5,000円以上	回答者数(人)
年代別							
20代	30.4	34.8	21.7	8.7	2.2	2.2	46
30代	22.6	43.6	15.6	7.8	9.1	0.8	243
40代	10.7	32.1	24.0	19.2	7.7	5.5	271
50代	6.4	24.3	20.0	24.7	17.0	6.4	235
60歳以上	12.7	26.8	21.4	18.2	13.2	6.8	220
就業別							
常勤	9.6	33.0	20.2	21.3	9.6	6.4	94
パート・アルバイトなど	14.9	30.1	20.4	17.8	11.7	4.5	309
無職	14.1	32.8	20.4	16.0	11.1	4.6	612
世帯別							
夫婦のみ	9.9	25.3	22.7	21.0	14.6	6.4	233
夫婦と子供	15.8	35.6	18.0	16.5	9.6	3.8	551
三世帯世帯	12.4	34.6	23.5	11.8	11.1	5.9	153
その他世帯	15.4	21.8	24.4	19.2	11.5	3.8	78
計	13.9	32.0	20.4	17.0	11.1	4.7	1,015
平成3年度調査	16.5	30.3	20.1	18.2	10.3	4.2	1,017
昭和61年度調査	18.4	31.1	17.3	14.7	9.2	3.0	972

資料：農林水産省食品流通局消費生活課 平成8年度食料品消費モニター 第二回定例調査結果（平成9年3月）

(C) 家族連れの出発者の絶対数

(D) 1,500円という客単価の割合がもっとも多い世代

(A) 40～50代をターゲットとする

(B) 就業形態の違いによってターゲットを絞らない

(C) 夫婦のみをわらう

(D) 30代独身もターゲットに加える

29. この表をもとにした以下の意思決定のうち、もっとも適切なものを選びなさい

(A) 過去と比較すると客単価は増加しているため、なるべく客単価を高く設定すべきである

(B) 就業形態が不安定なパートやアルバイトをターゲットにする場合は、客単価をなるべく抑えるべきである

(C) 年代別で見ると、20代の回答者数ももっとも少ないから、20代はターゲットから外すべきである

(D) 子供連れをターゲットとする場合は、夫婦の場合と比べて客単価を抑えるべきである

解答状況

試験終了

前の問題

次の問題

後で見直す

1653
2020/10/29